

平成30年度 狭山市公民館基本方針・重点目標

第5次狭山市生涯学習基本計画に設定した「自己を磨き 社会を支える豊かな学びの振興」とする基本目標を達成するため、平成30年度の狭山市公民館の基本方針及び重点目標を次のように定める。

基本方針1 現代的課題や地域課題への取組の強化

人権・環境・高齢化・子育て等の現代的課題や地域課題の解決に向けた事業の取り組みを推進するとともに、その成果を地域活動に活かす仕組みづくりと人材の育成を図る。特に、東日本大震災を教訓として、防災意識の向上に関する課題に積極的に取り組む。

【重点目標】

- (1) 人権・環境・高齢化・子育て等様々な現代的課題への取り組みの強化
- (2) 地域が抱える問題や課題への取り組みの強化
- (3) 地域の人材や資源を有効活用した取り組みの充実
- (4) 災害や防災に関する課題への取り組みの強化
- (5) 公民館職員の資質の向上

基本方針2 ライフステージに応じた公民館事業の充実

青少年期から高齢期にわたって誰もが主体的に学び、活動し、様々な交流を通じて生きがいを実感できるよう、関係部署とも連携しながらライフステージに応じた公民館事業の充実を図る。

【重点目標】

- (1) 幼児とその家庭・青少年を対象とした事業の実施
- (2) 成人を対象とした事業の実施
- (3) 団塊の世代を対象とした事業の実施
- (4) 高齢者を対象とした事業の実施

基本方針 3 教育機関等と連携した生涯学習機会の拡充

教育機関等と連携して、公民館事業の充実を図り、市民の多様な学習ニーズに対応するとともに、市民がいつでも、どこでも、だれでも学習することができる学習機会の拡充を図る。

【重点目標】

- (1) 大学・高校等の教育機関と連携した事業の推進
- (2) 図書館や博物館等の社会教育施設と連携した事業の推進
- (3) さやま市民大学やNPO法人と連携した事業の展開

基本方針 4 地域の教育力を培い、まちづくりにつながる公民館事業の推進

地域に伝わる伝統文化の継承、郷土を愛する意識の高揚を図るとともに、家庭や地域の教育力向上のため、家庭・学校・地域と連携した学社融合事業を推進する。また、公民館サークルの学習成果を活かした地域貢献活動を支援し、地区センター等と連携し、地域づくりやまちづくりを促進する。

【重点目標】

- (1) 地域に伝わる伝統文化の継承と促進
- (2) 地域の子どもたちがともに楽しめる生活体験及び自然体験学習の推進
- (3) 地域における世代間交流の促進
- (4) 子どもや青少年の居場所づくりの推進
- (5) 学校や家庭との連携による地域の教育力を高める事業の推進
- (6) 公民館サークルの学習成果を活かした地域貢献活動の促進
- (7) まちづくり事業につながる人材の育成と活動の場の提供

平成30年度 狭山市公民館 振り返り

狭山市公民館では、平成30年度の運営方針に基づき4つの基本方針を掲げ、各公民館の事業や狭山市公民館連絡協議会の事業として実施した。

1 現代的課題や地域課題への取組の強化

現代的課題、地域課題に関する取組、地域の人材や資源を活かした取組、災害や防災に関する取組を行った。また、連絡調整会議（職員部会）を発足し、新任職員研修会や定例会を実施。職員の資質向上及び横のつながりを広げた。併せて、入間地区公民館連絡協議会の公民館学校等への職員派遣を行った。今後も職員の資質を研鑽しつつ、現代的課題などへの対応を行っていく。

2 ライフステージに応じた公民館事業の充実

各公民館で家庭教育支援に関する事業、幼児、青少年を対象とした講座、成人や団塊の世代を対象とした講座、高齢者を対象とした講座を実施した。また、月1回程度行われている青少年、高齢者等の学級では、参加者の居場所として定着しており、参加者のいきがづくりや活発な交流が広がっている。

3 教育機関等と連携した生涯学習機会の拡充

社会教育施設や高校、大学と連携した事業、NPO法人やさやま市民大学修了生等と連携した事業を行った。また、本年度4年目の実施となった入会体験フェスタでは、着実に協力団体も増えており、生涯学習機会の拡充が行われている。公募展である市民展等、地域資源と連携した事業を実施することで、さらなる生涯学習機会の拡充を進めていく。

4 地域の教育力を培い、まちづくりにつながる公民館事業の推進

地区センターや学校、地域、公民館サークル等と連携し、学社融合事業をはじめとする地域資源を活用したさまざまな事業を実施した。地域住民による、子供を対象とした伝統文化や自然体験に関する事業を行い、世代間交流、地域での子供の居場所創出に寄与した。